



# 20世紀最大の問題作 完全版で刊行!

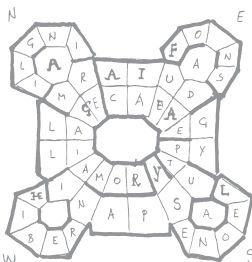
Il nome della rosa

## 薔薇の名前

【完全版】

ウンベルト・エーコ

河島英昭 / 河島思朗 訳



上巻 978-4-488-01693-7/ 定価 3,300円 (10%税込)  
下巻 978-4-488-01694-4/ 定価 3,520円 (10%税込)

海外文学セレクション

東京創元社



### 【内容紹介】

物語は老修道士アドソが、見習修道士時代のある七日間の出来事を回顧しながら綴った手記のフランス語訳を、「私」が手に入れたことから始まる。そこに記された、中世北イタリアの修道院で起きた修道士連続怪死事件が、聖務日課の時系列に従って、語られていく。事件の秘密は知の宝庫ともいべき迷宮の文書館にあるらしい。本書は、記号学者、哲学者、文芸評論家、中世文化研究者であった知の巨人ウンベルト・エーコが、その知をあますところなく注ぎ込み、全世界の読書人を驚嘆させた20世紀最大の問題小説の[完全版]である。作者自身による構想時のメモ、デッサン、そして旧版刊行後に発表された覚書なども収録。

### 【著者紹介】ウンベルト・エーコ Umberto Eco

1932年、北イタリア、アレッサンドリア生まれ。記号学者、文芸評論家、哲学者、文学者、作家。トリノ大学で中世美学、トマス・アクィナスを研究。卒業後、イタリア放送協会(RAI)の文化番組や出版社ボンピアーニの評論部門に関わる。ミラーノ大学、フィレンツェ大学を経て、ボローニャ大学の記号論の教授に就任。同大学名誉教授。著書に『薔薇の名前』、『フーコーの振り子』、『プラハの墓地』、『記号論』、『開かれた作品』他多数。2016年2月没。

東京創元社

〒162-0814 東京都新宿区新小川町1-5  
TEL 03-3268-8231  
<https://www.tsogen.co.jp/>

河島英昭(かわしま・ひであき) 1933年生まれ。東京外国語大学イタリヤ語学科卒業、同大学名誉教授。2018年没。『ウンガレッチ全詩集』でピコ・デッラ・ミラポラ賞、本書『薔薇の名前』で日本翻訳文化賞、BABEL国際翻訳大賞、日本翻訳出版文化賞、『イタリア・ユダヤ人の風景』で読売文学賞受賞。他に、カルヴィーノ、パヴェーゼ、マキアヴェッリ等の訳書、『タリヤをめぐる旅想』等の著書多数。

河島思朗(かわしま・しろう) 1977年生まれ。河島英昭(文学、首都大学東京)。京都大学大学院教授。著書に『基本から学ぶラテン語』『古代ローマごくふつ』の50人の歴史』等がある。

### 【訳者紹介】

本作はイタリア本国でストレーガ賞、フランスでメテイヌ賞。邦訳版(1990年)は、第1回BABEL国際翻訳大賞、第27回日本翻訳文化賞、第26回日本翻訳出版文化賞を受賞。そして、ミラポラとしての輝かしい評価として、『このミステリーがすごい! 91』海外編第1位、『週刊文春』ミステリーベスト10/20世紀海外部門第2位、『このミステリーがすごい! 30周年企画』キング・オブ・キングス海外編第1位、『もつとすごい!』このミステリーがすごい! 1988-2008年版ベスト・オブ・ベスト海外編第1位と様々な栄誉を受けています。

『薔薇の名前』(原題: Il nome della rosa/1980)はウンベルト・エーコ小説第一作です。刊行されるやいなや、イタリア読書界の話題をさらい、あつという間にベストセラーとなり、世界各国で訳出されました。1986年にはジャン・ジャック・コネリー主演(時代考証にジャック・リコフという著名な歴史学者も参加)で映画化され、1987年(まだ邦訳版が刊行される前でした!)に日本でも公開され、話題を呼びました。

中世、異端、暗号、写本、プリステリス、博物誌、記号学、「ヨハネの黙示録」……あらゆる読書の楽しみを内包したこの七日間の物語は、全世界で5000万部を超える異例のベストセラーとなっています。

### 原書について

今回の[完全版]の底本は、Il nome della rosa (La nave di Teseo 刊の2020年版)となります。2010年に訂正箇所を赤い文字で示したPDFがエーコから送られてきました。それによって確認作業を進めましたが、その後に、2012年版として、さらに訂正の加わったものに「覚書」が加えられた版が刊行されました。2015年には版元がLa nave di Teseoに移り、2020年版に至りました。

(現在の版元 La nave di Teseo——チーセウスの船の意——はエーコが親しかつた編集者とともに創設した出版社です)

薔薇の名前は……

# これまでの版と[完全版]の相違点

- ◆エーコ自身が下描きした、文書館の図面、登場人物のスケッチ等を収録



映画監督がコンテ絵を描くように、エーコ自身も登場人物のイメージスケッチ、中世の生活関連のスケッチ、文書館の図面などを描いていました。著者の思考回路をたどれる、貴重な図版です。

◆別巻として刊行された「覚書」を収録

『薔薇の名前』刊行後『「バラの名前」覚書』として而立書房から刊行されていますが、この度、故河島英昭先生が遺されていた準備訳稿をご子息で古典語がご専門の河島思朗先生が見直し完成させたものを収録。現行のイタリヤ語版『薔薇の名前』は巻末にこの「覚書」が収録されていますので、これで日本語版も同じ形になります。

(河島英昭先生は、新版との比較、翻訳見直しの途中で病に倒れられ、2018年に逝去されたため、その後、河島思朗先生に引き継いでいただきました)

◆刊行後、本文に折々に加えられた訂正を確認修正

国内版の初版刊行までに長い期間がかかったため、1990年の邦訳版刊行時に、すでに訂正が間に合っていたものもありましたが、さらにその後も加えられてきた訂正、削除等を反映した最新の内容になっております。

- ◆ 古典語がご専門の河島思朗先生による、特にラテン語  
関連部分の見直し、並びに本文の訳稿訂正

## 登場人物表

ハスカヴァルのウイリアム・メルクのアドルフ・フオッサノヴァのアッボネ・レミージュ・ダヴァラージネ・サルヴァトーレ・厨房係の助手・アラキーア・タ・ヒルズヘム・ザンクラー・タ・アルンデル・ザンクト・エヌメラムのセザエリーノ・ニコラ・ダ・モリモン・アデルモ・ダ・オートラント・ヴェナツィオ・タ・サルヴェメツク・ベンチヨ・ダ・ウゴアラ・アリナルド・タ・クロツマフェッラ・タ・ホルム・タ・ブルグス・アイアローダアレツサンドリア・パチーフィコ・タ・チーヴォリ・カベルティ・ノ・タ・カサーレ・フランチェスコ・厳格主義派の指導者・同右・同右・ベルトランド・テル・ボジエツト・ベルナル・ギー・ハスカヴァルのウイリアム・メルクのアドルフ・フオッサノヴァのアッボネ・レミージュ・ダヴァラージネ・サルヴァトーレ・厨房係の助手・アラキーア・タ・ヒルズヘム・ザンクラー・タ・アルンデル・ザンクト・エヌメラムのセザエリーノ・ニコラ・ダ・モリモン・アデルモ・ダ・オートラント・ヴェナツィオ・タ・サルヴェメツク・ベンチヨ・ダ・ウゴアラ・アリナルド・タ・クロツマフェッラ・タ・ホルム・タ・ブルグス・アイアローダアレツサンドリア・パチーフィコ・タ・チーヴォリ・カベルティ・ノ・タ・カサーレ・フランチェスコ・厳格主義派の指導者・同右・同右・ベルトランド・テル・ボジエツト・ベルナル・ギー・異端審問官、トミニコ会修道士・谷間の村の娘

僧院平面图

